

| | |
|------|--|
| 情報名 | 本県中山間地域の大麦奨励品種に「ミノリムギ」を採用 |
| 【要約】 | 中山間地域に向く品種は「 <u>ミノリムギ</u> 」が品質収量が安定し、実需者の評価も高いので奨励品種に採用する。 |
| 実施機関 | 中山間農業技術研究所(試験研究部) 【連絡先】0577-73-2029 |

【背景・ねらい】

第二次岐阜県民食料確保計画が策定され、中山間地域でこれを達成するためには麦類の栽培推進が必要である。県内で栽培されている小麦は中山間地では熟期が遅すぎ、品質収量が不安定である。

このため中山間地域で安定して栽培ができる早生で良質な大麦品種の選定を行ない、奨励品種する必要がある。

【成果の内容・特徴】

- 1 飛騨市古川町(標高493m)での「ミノリムギ」出穂期は5月6日、成熟期は6月12日である(表1)。
- 2 稈長は97cmで、倒伏はなびくように発生することがある(表1)。
- 3 穂長は4.8cm、穂数は363本/m²と確保しやすいので安定した収量が見込まれる(表1)。
- 4 容積重^(注1)は約660g/ℓで、千粒重は37g程度である(表1)。
(^(注1)リットル秤法による)
- 5 外観品質は良好である(表1)。
- 6 雪腐病抵抗性は強いが、根雪期間が100日を超えると発生することがある。
- 7 麦茶加工適正は、良好である(表2)。

以下、育成地での情報

- 8 麦茶加工適正は、良好である(表2)。
- 9 播性 ~ を有している。
- 10 うどん粉病・縞萎縮病に強い。
- 11 玄麦は長型で豊満、穀皮薄い。

【成果の活用面・留意点】

栽培適地及び栽培上の注意

- 1 栽培適地は中山間地域。限界標高は、500mを目安とする
- 2 やや長稈でなびき倒伏することがあるので施肥管理に注意する。
- 3 赤かび病を発生させないため開花期の防除を実施し、高品質麦生産に努める。

【具体的データ】

表1 「ミノリムギ」の特性概要

| 形質 | | ミノリムギ | アサマムギ(参考) |
|---------------|--|--|--|
| | | 標肥 | 標肥 |
| 出穂期 | (月日) | 5.06 | 5.02 |
| 成熟期 | (月日) | 6.12 | 6.09 |
| 稈長 | (cm) | 97 | 88 |
| 穂長 | (cm) | 4.8 | 3.9 |
| 穂数 | (本/m ²) | 363 | 254 |
| 収量 | (kg/a) | 45.2 | 35.5 |
| 同上比率 | (%) | 127 | 100 |
| 千粒重 | (g) | 36.8 | 35.2 |
| 容積重 | (g/L) | 664 | 643 |
| 諸抵抗性 | 倒伏 穂発芽 赤かび病 赤さび病 うどんこ病 縞萎縮病 | やや強 (易) (中) (中) (強) (やや強) | 強 (易) (中) (強) (弱) (やや強) |
| 播性程度 | | (~) | (~) |
| 原粒の外観品質 粒型 | | 上の中 中長 | 中の中 中長 |

注) 平成10~16年度奨励品種決定基本調査成績の平年値。

諸抵抗性・播性程度()は育成地データ。播種期：10月第1-2半旬

施肥：標肥 元肥窒素 0.5kg/a 穂肥窒素 0.5kg/a

表2 実需者(三重県M社)による「ミノリムギ」の評価(H16)

| 項目 | 評価内容 |
|------------|-------------------------------|
| 麦茶加工適性 | 特に問題なく優れている。 |
| 他品種との比較 | 「ファイバースノウ」は焙煎時に容積が増加するため不適 |
| 麦茶以外の利用 | 食用(押し麦)にも向く。 |
| 岐阜県産麦茶の動向 | 大手スーパーが取り組み始めたことから需要拡大が見込まれる。 |
| 奨励品種採用への意見 | 「ミノリムギ」を要望。 |

【研究担当者：鍵谷俊樹・久田浩志・坂田 勲・河合 靖・佐藤秀人】

